

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校サポート看護師派遣事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	10	06	01	02	51
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	宮本 信一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校児童生徒	意図	児童生徒の健康教育の充実を図る。
事業内容	サポート看護師はその専門的な立場から、保健室を訪れる児童生徒の健康チェックや応急処置、個別に関わることが望ましい児童生徒の補助、生活習慣に関する援助・助言等を行う。また、思春期教育・薬物乱用防止教育・健康増進に関わる授業等を養護教諭が行いやすい環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年度に流山北小学校、南流山小学校、南流山中学校、北部中学校にサポート看護師を配置し、本事業がスタートした。平成18年度以降は増員し、平成21年度には現在と同様の8名が配置となった。さらに平成22年度からは医療行為（痰の吸引）が必要な生徒に対応するため、医療措置を行う看護師を配置している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	養護教諭による学年学級への指導時間数	107	147	134	時間	↑↑↑	健康教育の推進が図られている。
②	看護師配置数	9	9	9	人	↑↑↑	看護を要する児童生徒が増加している。	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童生徒への医療的な応急処置等や積極的な健康教育の充実を図ることを目的として、平成17年度より実施している。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,794,511	15,475,790	15,647,641				
事業費(b)(円)		11,705,261	12,455,390	12,681,241				
うち一般財源		11,705,261	12,455,390	12,681,241				
職員給与費(c)(円)		3,089,250	3,020,400	2,966,400				
人役・職員(人)		0.45	0.45	0.45				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	サポート看護師の配置の目的や役割等を再度見直し、具体的な活動範囲を示し、学校に周知する。	③取組における課題(Check)	市内4地区に2人ずつ配置したサポート看護師の配置校の妥当性について検証する。本来の配置目的に沿った活用の充実が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	看護師派遣事業連絡会を実施し、他校派遣をはじめ、サポート看護師の効率的な活動について意見を交換した。サポート看護師の配置校の見直しを行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	サポート看護師の配置校での成果を広く波及させるため、積極的に派遣を行う。